

県立施設千葉県袖ヶ浦福祉センター対応に関する主な経過について

平成 26 年 5 月 20 日
千葉県健康福祉部障害福祉課

- 11月25日（月）
利用者が養育園内で夕食後に呼吸困難となり救急搬送。26日未明に搬送先医療機関で死亡（「敗血症による多臓器不全」と診断）
- 以後
県による事業団からの聴取、事業団による内部調査、警察による捜査
- 12月11日（水）
障害者総合支援法等に基づく立入検査実施（養育園第2寮（13人））
⇒事業団役員及び養育園職員からの事情聴取における職員の自供又は証言により、養育園第2寮の5人の職員が、死亡した利用者に対し、それぞれ暴行を行っていたことが確認されるとともに、当該5人の職員が、通常の支援の中で、亡くなった利用者とは別に、利用者9名に対し、それぞれ暴行を行っていたことが確認された。
- 12月18日（水）及び19日（木）
立入検査（養育園第3寮（17人）及び第4寮（10人））
- 12月25日（水）及び26日（木）
立入検査（養育園第1寮（15人）及びさくら荘（第5寮）（7人））
- 12月27日（金）
勧告及び行政処分（養育園に対する当座の措置）
 - ・ 勧告⇒虐待防止体制の整備（施設長が養育園の運営に関与しないことを含む[→1月14日付で施設長解任]）、理事長等自ら支援現場に出向き利用者の処遇について確認、サービス計画の変更や職員の配置換えを行う際の県との事前協議
 - ・ 行政処分⇒当分の間、新規利用者の受入れを停止
- 1月8日（水）～10日（金）
立入検査（更生園第1（55人））
- 1月15日（水）～23日（木）
立入検査（更生園第2（66人））
- 1月16日（木）
県議会健康福祉常任委員会
- 1月17日（金）
第三者検証委員会（第1回：検証項目及び今後の進め方）
- 1月24日（金）
勧告（更生園に対する当座の措置）
⇒個別研修等実効性のある虐待防止体制の整備、事故発生時の県への報告（条例・協定書）の遵守、暴行を行った職員及び常務理事・養育園施設長等に対する厳正な措置[→1月30日付で常務理事兼センター長解任]、新規利用者受入れを行う際の人員体制を含めた県との事前協議

- 1月27日（月）～31日（金）
立入検査（アドバンスながうら《自主事業》（55人））
- 1月30日（木）
県議会健康福祉常任委員会による現地調査
- 1月31日（金）
第三者検証委員会（第2回：検証事項の論点）
- 2月3日（月）
勧告（アドバンスながうらに対する当座の措置）
⇒外部チェック機能の強化を含めた虐待防止体制の整備、心理的虐待や不適切な支援も含めた事故発生時の県・理事会等への報告の遵守、職員の配置換えの際の県との事前協議、保護者への説明及び情報提供の充実
- 適宜
立入検査（～2月25日（火）全施設完了）
- 2月10日（月）
第三者検証委員会（第3回：検証事項の論点整理、緊急提言）
- 2月14日（金）
第三者検証委員会緊急提言
〔① 虐待防止体制の整備・強化（事業団幹部の刷新、職員の教育や意識改革）〕
〔② 外部チェック体制の整備・強化〕
- 2月19日（水）
県議会健康福祉常任委員会
（①、②に加え、③現場の処遇の改善）
- 2月21日（金）
勧告（千葉県社会福祉事業団に対する措置）
⇒事業団幹部の刷新（外部人材の登用、理事長が事業団の運営に関与しないことを含む[→年度末での理事長退任意向表明]）、外部講師による研修・教育の徹底や改善意識の共有、支援内容に見合った人員配置や処遇の確保
- 3月3日（月）
第三者検証委員会（第4回：外部チェック・支援体制のあり方、中間答申に向けて）
- 3月11日（火）
元養育園第2寮の5人の職員のうち1人が傷害致死事件被疑者として逮捕
- 3月14日（金）
県議会健康福祉常任委員会
- 3月15日（土）
養育園第2寮保護者説明会（県主催）
- 3月17日（月）
第三者検証委員会（第5回：中間答申素案）
- 3月17日（月）～
パーソナルサポーター派遣開始
- 3月19日（水）
県議会本会議における委員長報告

健康福祉常任委員会から当局に対して6つの要望

- ①支援現場の不断の改善 ②社会福祉事業団の抜本的改善の進捗管理
- ③外部人材によるチェック・支援体制の強化 ④県による監査・モニタリング体制の強化
- ⑤セーフティーネット機能についての配慮 ⑥指定管理者制度の運用の改善

○ 3月24日（月）

第三者検証委員会（第6回：中間報告案）

○ 3月25日（火）

事業団において、旧役職員の処分案（年度末までに実施）及び新役員案を公表

○ 同日

第三者検証委員会から県に中間報告を提出

○ 同日

事業団に対し、中間報告を踏まえた適正な事業運営等の改善の徹底を通知

○ 3月26日（水）

県内民間事業者に対し、中間報告の内容も踏まえた虐待防止等の適正な事業運営の徹底を通知

○ 3月27日（木）

千葉県総合支援協議会（旧自立支援協議会。構成員：県内障害者団体・事業者等）において、中間報告を報告

○ 3月29日（土）

袖ヶ浦福祉センター保護者説明会開催（県主催）

○ 3月31日（月）

社会福祉事業団元職員（3月11日逮捕）を傷害致死罪で起訴

*一連の立入検査において確認された状況

（平成16年度から平成25年度まで10年間）

暴行確認者数 11人 （被虐待者数 17人）

性的虐待確認者数 2人 （被虐待者数 2人）

心理的虐待確認者数 3人 （被虐待者数 4人）

合計 15人 被虐待者数 23人

（延べ16人）

※1 虐待（暴行）が確認された職員11人の暴行は、傷害致死容疑となった腹部を蹴ることのほか、頭を叩く、引っ搔くなど、その態様・程度は異なるが、うち5人は懲戒解雇（解雇）、5人は停職等の処分を受け退職した。1人は減給の処分を受け在職し施設長及びリーダーが重点的に管理監督している。

性的虐待が確認された職員2人のうち、1人は文書訓告の処分を受け退職し、1人は文書訓告の処分を受け在職し管理者が重点的に管理監督している。

心理的虐待が確認された職員3人のうち、2人（うち1人は上記暴行の1人に同じ）は厳重注意を受け退職し、1人は文書訓告の処分を受け在職し施設長及びリーダーが重点的に管理監督している。

※2 被虐待者23人の方については、傷害致死容疑となった虐待（暴行）を受けた方や、支援時に暴言を吐かれ心理的虐待を受けた方など、その受けた虐待の態様・程度は異なるが、23人のうち、1人は当該暴行の後に亡くなり、1人は自宅に戻り、2人は短期入所終了に伴い退所し、1人は病気により亡くなっている。（なお、被虐待者23人の方の保護者に対しては、虐待の事実をご報告した。）

事件後、現場の改善に向けて取り組んでおり、その他現在利用している18人の方については、施設長やリーダー等が、支援を行う支援員に対して、重点的な指導監督を行い、適切な支援に努めることとしている。

- 3月31日（月）
社会福祉事業団から改善報告書提出（←県の4回の改善勧告）
- 同日
県と事業団との指定管理協定書の改定
- 4月1日（火）
事業団理事会（中間報告、当面の改善計画等）
- 4月11日（金）
事業団評議員会（中間報告、当面の改善計画等）
- 4月15日（火）
県議会健康福祉常任委員会協議会
- 4月18日（金）
第三者検証委員会（第7回：事業団の改善計画の検証、センターのあり方）
- 同日
元養育園第2寮の5人の職員のうち2名が書類送検
- 4月24日（木）
千葉県障害者施策推進協議会（第五次千葉県障害者計画）
- 4月30日（水）
第1回千葉県総合支援協議会（第五次千葉県障害者計画）
- 5月 8日（木）
パーソナルサポーター派遣に係る打合せ会議
（第三者検証委員会委員、相談支援専門部会委員による検証）
- 5月10日（土）
強度行動障害のある方の支援者に対する研修[県委託事業]開始 ※
（※センターから2名（養育園1名・更生園1名）参加・6月に養育園で実地研修予定）
- 5月12日（月）
千葉県袖ヶ浦福祉センター知事視察
- 5月13日（火）
保護者・事業者向けアンケート送付（5/30〆切）
- 5月20日（火）
第三者検証委員会（第8回：事業団の改善状況の検証、センターのあり方、診療室のあり方）